



B級グルメを求めて8万人が来場

10月17日、第3回行田市B級グルメ大会が、さきたま古墳公園で開催され約8万人の来場者でにぎわいました。

全国のB級グルメが集うB-1グランプリの歴代覇者がすべて出展するとあって、開催前から話題を呼んだこの大会。午前8時前から各ブース前に長い列ができる盛況振りで、会場のおちろこちらで、口いっぱい目当てのグルメをほお張る来場者の姿が見られました。

1番を目指して

10月6日、総合公園自由広場で第56回行田市小学校連合運動会が開催されました。

各小学校の6年生が100メートルや60メートルハードルなど7種目に分かれ、競い合ったこの大会。保護者や仲間からの声援を受けた選手らは、1番目指して、鋭いまなざしで競技に臨んでいました。



児童が優雅で力強いバレエに挑戦

10月14日、文化庁主催の「子どものための優れた舞台芸術体験事業」で、松山バレエ団によるバレエ公演が星宮小学校で開催されました。

7月に事前のワークショップでバレエの歴史や表現方法を学んだ児童らはこの日、「新白鳥の湖」や「ロミオとジュリエット」などの演目を鑑賞しました。また、数人の児童が舞台上がり、バレリーナとともに体を使って気持ちを表現するマイムに挑戦したり、男女各1人が妖精に扮し、「くるみ割り人形」に出演したりした場面も。プロの優雅で力強い演技に、会場から大きな拍手が送られました。



一投一打に集中

10月11日、総合公園野球場で行田市少年野球秋季大会が開催されました。今回で記念すべき100回を迎えるこの大会にはレギュラー15チーム、ジュニア14チーム、計29チームが参加しました。

1年間の集大成というべきこの大会で、チーム一丸となって勝利を目指した選手たち。一投一打に集中して臨んだ試合は緊張感が漂い、各会場で熱い戦いが繰り広げられました。

